

## 個人質問

33人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載  
全員の個人質問は市議会ホームページのインターネット議会中継で配信しています。

## まちづくり



市役所から見た岡山市街

## 時代の要請や環境変化に対応した総合計画の見直し

**問** 岡山市都市ビジョンの改定範囲は。

**答** 改定時期が迫る前期基本計画だけでなく、平成37年度までを期間とする基本構想も含めて改定し、市政の方向性の全体像や政策・施策の体系を全面的に再構築する。

特に、人口減少に対応するため、雇用を創出するための産業振興、女性が輝くための取り組みや子どもを産み育てやすい環境づくり、需要の変化に沿った公共施設・インフラ整備など、広範な分野にわたって必要な見直しを行う。

## 地方中枢拠点都市制度を活用し近隣自治体と連携

**問** ①制度の活用を進める市長の考えは。②メリットは。③今後のスケジュールは。

**答** ①近隣自治体の首長との懇談会等で「人口減少社会への突入を見据え、行政区域を越えた取り組みが必要」との意見が多

くあった。本市は中心都市として圏域全体をけん引していく役割があり、広域的な政策を展開したいと考えている。②他の市町と連携し、地域の力を集結して広域的な行政課題に効果的・効率的に対応することは、圏域全体の発展につながり本市の経済活動の活性化にも寄与する。③平成27年度の国のモデル事業応募へ向け、まずは各首長と協議を進め、新たな広域連携制度に対応していきたい。

## 回遊性向上と魅力づくりのために社会実験を再検討

**問** ①中心市街地活性化のために実施している政策パッケージの現状は。②県庁通りの社会実験は実施に向けて取り組むのか。

**答** ①回遊性の向上では、ももちゃりのポートを増設し、市役所筋の自転車走行空間を整備した。市民主体の西川緑道公園でのパフォーマンス事業は、平成26年11月末時点で前年度に比べ開催日が8日、来場者数が3,000人以上増加した。

魅力づくりでは、岡山城と後楽園のイベント同時開催などで、岡山城天守閣への入場者が26年10月末時点の累計で前年度に比べて2割以上増加した。また、歴史まちづくり回遊社会実験などでさまざまな魅力も創出され、一定の成果が出てきている。②県庁通りと西川緑道公園筋の社会実験は、27年度実施に向けて実施方法、内容、時

期等について県警と相談を始めたところであり、引き続きしっかりと協議を進めたい。

## デジタルサイネージで岡山市の情報発信

**問** 駅南地下道の情報発信ディスプレイの一部を、本市専用にするべきでは。

**答** イオンモール岡山の開業に合わせて、駅南地下道を有効に活用するための提案を民間から募集した結果、37のショーケースにデジタルサイネージ（電子看板）を設置して、広告などさまざまな情報を発信する案を採用し、平成26年12月から本格運用を開始した。広告などのほか、市内のイベント情報や市の広報などを提供している。

今後、市のコンテンツが多く集まった場合には、専用のディスプレイを1基設置する予定にしている。



駅南地下道の両側に並ぶデジタルサイネージ

## 「旭川再生！」で集う・憩う・楽しむ水辺へ

**問** 石山公園は、社会実験の分析評価をした上でリニューアルすべきでは。また、カフェ常設やイベント開催は。

**答** 現在実施しているパークマネジメント調査で、積極的な利活用の方策を検討する予定。公園利用者の声を聞くことはもち

## 用語解説 ※2 【地方中枢拠点都市】

人口減少・少子高齢化が進む中でも行政サービスを維持し提供していくため、圏域の核となる地方中枢拠点都市と近隣の市町村がさまざまな分野で連携を行い、役割分担をする制度。本市は津山市など県内13市町の首長と地方中枢拠点都市圏構想首長懇談会を開催している

ろん、歴史まちづくり回遊社会実験の成果や検証結果を踏まえ、平成27年度に基本計画を策定したい。

オープンカフェの常設についても、社会実験などを行いながら、事業化に向けて手法や規模、場所などを検討していきたい。

### 本市もシーガルズに応援のトス

**問** 岡山を代表するバレーボールチーム「岡山シーガルズ」を本格的に応援するべきでは。

**答** これまで毎月「市民のひろばおかやま」でチームの活躍ぶりや選手の紹介を行ってきた。本格的な支援についても、岡山シーガルズと打ち合わせをしており、本市で開催される大会での「岡山市民デー」の実施や市庁舎への支援自動販売機の設置などを検討している。

今後も、岡山県や赤磐市と一緒に支援に取り組んでいきたい。

## 財政・ESD



本市が取得を決めた貯金事務センター跡地

### 市役所隣接の土地を有効活用

**問** 貯金事務センター跡地を取得し民間活力を活用する方針だが、取得手法、金額、活用案は。

**答** 跡地は市役所に隣接した貴重な空間であり、市庁舎等の再整備を含む将来的な活用が考えられる。積み立ててきた土地開発基金の一部を取得費に充てるとともに、未利用地の売却を進めながら新たな市民負担の抑制に努めたい。金額は、用地測量や不動産鑑定評価で適正価格を算出し、契約手続の中で確定していく。当面の活用については、民間のノウハウを生かした駐車場も考えられる。約280台の貸付収入が見込まれる一方で、市内中心部への車の乗り入れ抑制やパークアンドライドによる回

遊性の向上にも繋がるものであり、市民の利便性にも配慮した検討を進める。

### 「見える化」で27年度予算を市民と情報共有

**問** 市長にとって2回目の予算編成となるが、大森カラーをどのように反映させるのか。

**答** 市長就任後、市民からさまざまな意見を得て、本市を取り巻く大きな変化や課題が見えてきた。

新年度予算は編成過程の「見える化」を実施し、市民と情報を共有しながら編成したい。「住みやすさ」「力強さ」「安全・安心」の三つの視点を大切に、人に優しいまちづくり、健康・医療・福祉の強みを生かしたまちづくり、女性が輝くまちづくり、市民協働や広域連携の取り組みなど、市民の幸せと魅力ある本市の発展に資する取り組みが実現できるよう、十分検討したい。

### 27年度以降もESDをさらに拡大

**問** 次の10年に向けたESD

活動の推進について、取り組む施策は。

**答** ESD推進協議会で策定中の「新・岡山ESDプロジェクト基本構想」が固まれば、ユネスコが策定しているグローバルアクションプログラムに本市も貢献すべく、まず、今後5年間の具体的な事業やタイムスケジュールを検討していく。

ESD推進の核となる人づくりやネットワークづくりは重要であり、地域におけるESD活動推進事業等も参考にしながら、引き続き全庁的にESDのさらなる拡大に取り組んでいきたい。

### ESD先進都市としてさらなる国際友好都市連携を

**問** 台湾・新竹市やグアム準州との有機的なつながりは非常に有益だが、考えは。

**答** 新竹市環境保護局視察団が平成26年5月に来訪し、廃棄物対策や地球温暖化対策等に関する取り組みや関連施設を視察した。また、グアム準州へは、本市、岡山商工会議所、岡山大学等が連携して分別ごみ回収ボックスを寄贈し、ごみ処理問題に協力した。

今後も、ESD先進都市として国際友好交流都市の課題解決に寄与するとともに、世界のESDの先導役として本市の知名度が上がっていくような取り組みをしていきたい。



グアムに寄贈した分別ごみ回収ボックス

## 防災・暮らし

### 東区役所、東消防署、東水道センターの合同庁舎が完成

**問** 防災拠点としての機能、役割は。

**答** 新しい東区役所等の庁舎には、災害対策本部室や約220人収容可能な一時避難所、防災備蓄倉庫、最大72時間電力供給可能な自家発電装置等の機能を備えており、さらに東消防署とも一体となっている。

災害時には、この合同庁舎とともに百花プラザと緑花公園が持つ防災機能を発揮することにより、地域の防災拠点としての役割を果たすと考えている。



防災機能も備えた東区合同庁舎

### 地域特性を反映した ※3 内水ハザードマップを作成

**問** ①作成スケジュールは。②作成に当たっては市民の声を聴くのか。③公表するのか。

**答** ①各種データを基に、平成27年度から作成に着手する予定。②過去に浸水した地域の住民の意見を聴くなどして、地域の実情、過去の災害経験など地域特性が反映されるよう努めたい。③浸水実績やシミュレーションによる浸水想定などを、28年度から段階的に公表したい。

### 自転車は条例どおりに ルールを守って安全運転

**問** 二人乗り等の法令違反を行

ってはならないとする「岡山市安全・安心まちづくり条例」を踏まえ、どのような取り組みを実施したか。

**答** 園児から高校生までを対象に、交通指導員が直接学校等に出向いたり、スタントマンが交通事故を再現する交通安全教室を実施している。さらに、春と秋の交通安全運動期間に自転車シミュレーターを利用した啓発活動、交通安全母の会等と連携した自転車無灯火指導などを行っている。

また、自転車の路側帯通行ルール変更等の法律改正に合わせ、

平成25年12月にルール改正啓発チラシを市内全町内会に配布した。26年11月には内閣府・県と合同で「自転車の安全利用について」の交通安全フォーラムを開催した。

市内の自転車に関わる交通事故件数は、26年10月末現在で前年同時期と比べ約2割減少し、一定の効果が表れている。

### ※4 ご当地プレートで郷土愛の醸成と岡山市の好感度アップ

**問** 導入の検討は。

**答** 原動機付き自転車のご当地プレートは、全国の多くの自治体で導入されている。改めて本市を見つめ直し、自らが居住する地域への親しみや郷土愛を醸成する一助となり、また、本市のイメージや好感度の向上などの効果も期待できることから、平成27年度の導入に向け、前向きに検討したい。

### 幼稚園児と保育園児が 一緒に過ごす認定こども園

**問** ①幼稚園と保育園は別指導とするのか。また、教育と保育のバランスは。②両方の資格を持つ職員が指導するのか。③カリキュラムは。

**答** ①満3歳以上は、現在の幼稚園児と保育園児が同じ学級の中で過ごすことを基本とし、これまで幼稚園と保育園で行ってきた、集団生活を通して小学校以降の教育の基礎を培うための指導を行っていく。保育を必要とする子どもには、児童福祉法に基づく保育を合わせて行う。②職員は、幼稚園教諭と保育士の両方の資格を持つ保育教諭。③現在の幼稚園児と保育園児と一緒に過ごす時間は、同じカリキュラムになる。

### 「合葬墓」を知っていますか？

**問** 平成26年4月に上道墓園の一面へ合葬墓が整備されたが、市民へのPRはできているか。また、市西部にも整備しては。

**答** 「市民のひろばおかやま4月号」に掲載したところ、窓口や電話で数多くの問い合わせが寄せられている。26年11月末時点での納骨数は25体で、徐々に浸透していると考えているが、今後も周知に努めたい。

なお、新たな整備については、利用状況や市民ニーズを検証しながら研究していくが、「なださきメモリーパーク」内にも用地を確保している。



新しい埋葬の形態「合葬墓」～上道墓園～

#### ／用語解説 ※3 【内水ハザードマップ】

大雨時に想定される下水道や水路の排水能力を上回る雨水流出が生じた際の浸水区域や水深などのさまざまな情報をまとめたマップ

#### ※4 【ご当地プレート】

雲型や富士山型など、自治体が独自のデザインを採用したナンバープレート